

農業体験に行ってきました！

農業の現状を知り身近に感じることで、自分自身の行動を変えたり多くの人に伝えたりすることを目的に、9月に千葉県香取市の株式会社芝山農園にお邪魔させていただきました！2グループ、計5名の学生が1週間農業体験を行い、有意義な時間を過ごしました。



2 飢餓を
ゼロに



環境 ISO 学生委員会のメンバー
が農業体験に行きたいぞ！



作業車で掘ったサツマイモを大きさを分けている様子。
外での作業は室内での作業と比べると全身を使うので体に負荷がかかり、疲れがたまりやすかったそうです。(右上)



サツマイモの重量を量り、仕分けをしている様子。
本来は手で持ったときの感覚で重さを大まかに分けていくものですが、初めのうちは中々感覚がつかめず、機械で重さを量っていました。(左上)

～参加した学生の感想～

私が体験した作業はさつまいもの収穫だけですが、最も印象に残ったのは「1回目は失敗しても大丈夫だから、やりながら理解してね」という作業がほとんどであるということでした。一緒に作業をしているインドネシア人やベトナム人の方々とは作業を通してコミュニケーションをとれる、言語は片言でも間に作業があるから互いに分かることがあるというのは私にとって興味深く楽しいことでした。

サツマイモを袋に詰めている様子。
最初は慣れない作業に手間取ったようですが、回数を重ねるうちに効率よく梱包できるようになりました。単純作業ですが、丁寧にやる事が大事です。
(下二枚)



私はこの体験を通じて、農園の規模に関係なく、人手不足の課題や、新たな取り組みを始める際の意見の違いなどの問題があるとわかりました。色々な意見を取り入れて、もっと革新的なことに挑戦していくと、農業をより発展させられるかもしれないと思いました。

現代の農業や経営の心構えなど、大学では学べない貴重な経験をさせていただきました。

農園の規模はかなり大きく、多くの外国人労働者が働いており皆で協力して作業を行っていました。農業は少人数で、機械を使って大規模に行うものだと思っていましたが、実際には大規模で農業を行うとすると機械が何台あったとしても結局は人手が多く必要なのだとわかりました。

法人化している農園ということで、農家とは少し勝手が違うところがあるかもしれないと思っていましたが、サツマイモの収穫、選別、袋詰めなどの作業を通して、また職員の方々や外国人労働者の皆さんとの交流から、第一次産業の実情の片鱗に触れることができた貴重な機会でした。

最後までご覧いただきありがとうございます。現代農業により興味を持っていただければ幸いです。今回の農業体験を通じて、学生の農業への理解が深まりました。ご協力いただいた芝山農園・京葉銀行の皆さん、ありがとうございました。

